

令和 7 年 7 月 8 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 6 年度から令和 7 年度	
会 社 名	大進建設株式会社	
住 所	〒385-0051 長野県佐久市中込3089番地 2	
代表者名	代表取締役 黒澤 和之	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
担当部署	営業部	
担当者名	黒澤 大輔	
連 絡 先	T E L	0267-62-1050
	F A X	0267-62-6300
	電子メールアドレス	info@mymydaishin.co.jp
ホームページアドレス	http://www.mymydaishin.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の発生抑制を最重点項目とし、現場ごとの廃棄物の管理目標を設定した上で計画を策定する。施工段階においては、産業廃棄物の発生状況を随時確認し、状況が望ましくない場合には施工方法の見直し等を検討する。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	7 年度目標値	6 年度実績値	5 年度実績値	4 年度実績値
総排出量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	900	669	919	1,294
リサイクル量の推移 ($\text{t} \cdot \text{kg} \cdot \text{m}^3$)	900	669	919	1,294
売上高の推移 (円)		501,301,757	1,059,805,000	2,167,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・安全大会、役職者会議、月例会議等の機会を活用し、産業廃棄物の処理方法や手順、排出抑制について社員の意識向上を図る。
- ・リサイクル促進のための取組として、計画段階で設計との差異がないか確認し、事前に誤発注等を防止するよう努める。
- ・複数現場による共同発注等のほか、必要最低限の梱包を納入業者へ依頼するなどし、廃棄物排出量を抑制する。
- ・廃棄物処理は可能な限り、電子マニフェストを導入している業者へ廃棄物処理を依頼するほか、依頼先の業者による再資源化処理が適切に行われているかどうか随時確認を行う。
- ・各現場において廃棄物発生量の減を図り、また減量化への意識向上を図るため、廃棄物集積所へ標語等の掲出を行う。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	7年度目標値	6年度実績値	5年度実績値	4年度実績値
砕石	95	95	95	100
アスファルト合材	95	95	95	100
全 体	95	95	95	100